

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容 等	発行年月	備考
1	第5回くらしを豊かに東京都大会記録誌	東京都新生活運動協会と東京都生活学校連絡協議会主催の大会記録のうち、「リサイクル型都市をめざして」をテーマにした対話集会から戸部商事取締役・戸辺昇氏(北区リサイクラー活動機構理事)の発言部分を収録	1994.2	
2	グローバルメッセージ<未来への信号> '94春	北区区民部リサイクル生活課が発行する広報誌／1994年2月5日、北とびあ・さくらホールで開催された「リサイクル活動感謝フォーラム」の様態を伝える写真および松田美夜子氏の記念講演「ドイツ、デンマークに視る環境リサイクル教育」の講演録を収録	1994.2	
3	街から 第3巻第11号(1994年6・7月号)	フロムタウン(北区王子の出版社)発行のタウン誌／連載コラム「仲間たち展—The Party—」にとりあげられた北区リサイクラー活動機構を紹介する記事「人・街・地球を愛する“RERA”仲間この指とまれ」を収録	1994.6	
4	BC(Business Connection of Institution Urban Renewal) 1994年夏号(Vol. 31)	公団再開発施設懇話会事務局が発行する広報誌／本号の特集:エコ・マーケティングの時代で「リサイクル生活文化を提案する—東京都北区・エコ広場館—」が紹介されている。	1994.6	
5	もっと暮らし上手に「たしかな目」1994年8月号	国民生活センターの商品テストと暮らしの情報誌／連載コラム「エコトーク 41」(水沢 周):「町おこしとリサイクル活動の拠点—富士見橋エコ広場館—」を見出しにして、見開き2頁で活動内容が紹介されている。	1994.8	○
6	フォト 平成6年10. 15	時事画報社発行の写真誌／「東京・北区のリサイクル運動—町の“リサイクラー”たち」の記事が5ページにわたって掲載されている。	1994.10	○
7	北区生涯学習ガイドブック「アンプル」 4	北区教育委員会生涯学習推進課が発行するガイドブックの1995年版／本号特集はボランティアにTRYで、「富士見橋エコ広場館に行こう!」の紹介記事が1ページ掲載されている。	1995.6	○

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容等	発行年月	備考
8	とつきょう広報 1995年7月号	東京都情報連絡室広報広聴部が発行する広報誌／巻頭のグラビア特集として「リサイクルの発信地—北区富士見橋エコ広場館—」が4ページ掲載されている。	1995.7	○
9	商工会 1995年9月号	全国商工会連合会が発行する広報誌／連載コラム【今日は訪問記】で「みんなの輪が創るリサイクルステージ—富士見橋エコ広場館—」が1ページ掲載されている。	1995.9	
10	自治会町内会情報誌「まち・むら」 53	あしたの日本を創る協会が発行する情報誌／連載コラム「個性かがやくまちづくり・12」で、北区富士見橋エコ広場館が「集まり、体験し、話し合い…地域の人々の拠点～リサイクルやエコライフの輪が大きく広がる」のタイトルで多くの写真を中心に5ページにわたって掲載されている。	1996.3	○
11	東京ガス通信「このまち」 The 17th Edition	東京ガス(株)北部事業部(北区滝野川5)が発行する広報誌／連載コラム[このまちのこの人に聞く]で、「北区リサイクラー活動機構“北区RERA” 竹腰里子さん」のタイトルでインタビュー記事が掲載されている。	1996.3	
12	月刊廃棄物 1996年7月号	(株)日報が発行する環境保全と資源化への提言誌／コラム【自治体ケーススタディ】で、生ごみリサイクル研究者:福渡和子氏の綿密なレポートによって、北区リサイクラー活動機構が進める“リサイクル革命”の全容が明かされている。(掲載頁数は13ページ)	1996.7	○
13	ハローあらかわ生活情報MAP「ARA」 1996. 7	(財)河川情報センターが発行する月刊情報誌／本号の特集MAPは「身近な環境を考えるリサイクルMAP」で、「住民・業者・行政が一体になって活動～北区の場合～」のタイトルで北区リサイクラー活動機構の活動が紹介されている。	1996.7	○
14	生活活性マガジン「自己表現」 1996・9	芸術生活社が発行する月刊誌／本号の特集は「粗大ゴミ探検隊！！」で、富士見橋エコ広場館が「明るく楽しいリサイクル活動を展開」として紹介されている。	1996.9	

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容 等	発行年月	備考
15	とうきょう広報 1996年増刊号	東京都政策報道室広報部が発行する広報誌／本号の特集は「ごみ減量とリサイクル」で、「みんなでがんばっていこう」のコラムに竹腰里子代表の文章によって北区リサイクラー活動機構の紹介がされている。	1996.10	○
16	地域をつくる人びと	地域づくり団体全国協議会発行の冊子／地域活性化全般の章に「地域ぐるみの手づくり活動を～リサイクルを核とした町づくり＝東京都北区：竹腰里子」が2ページにわたって掲載。小見出しは「長年の夢が具現化したエコ広場館の開設」「一大転機となった澤田さんとの出会い」「リサイクルを切り口にした町づくり」	1997.3	
17	全国環境保全活動ネットワーク情報誌「エコロシッパ'96」	(財)環境情報普及センター発行の冊子／「エコロシッパ'96 100選マップ」では東京都で唯一北区リサイクラー活動機構が取り上げられ「エコーのように広がれ リサイクルの輪」として紹介されている。	1997.3	
18	Savemation(セーブメーション) 1997・March	制御機器・自動化機器の大手メーカー山武ハネウエル(株)の広報誌／コラム地球広場に掲載された「リサイクル活動によるコミュニティの創造—北区・富士見橋エコ広場館—」の記事。「ある日のエコ広場館」「エコ広場館の誕生まで」「エコ広場館の果たす役割」の3節で活動を紹介する。(見開き2ページ)	1997.3	
19	地域人材養成塾「塾長サミット」	(財)地域活性化センターが自治省の後援で平成10年2月19日・20日に開催した「塾長サミット」の参加者配布資料／東京23区からは北区リサイクラー活動機構(3名：竹腰代表、秋元事務局員、片山常任理事)のみが参加、それぞれの立場での活動紹介・報告文を掲載している。	1998.2	○
20	廃棄物学会誌「C&G(シー&ジー)」 1998第2号	廃棄物学会(現・廃棄物資源循環学会)の機関誌／実践レポートの欄で北区リサイクラー活動機構が取り上げられている。タイトルは「ハードは行政、活動は民間。」で小見出しは「リサイクラー登場～住民と行政が共に計画づくり」「リサイクラー・ネットワーク～北区リサイクラー活動機構の発足」「暮らし再構築～富士見橋エコ広場館」「リサイクルからの自己実現～コミュニティづくりへ」	1998.2	○
21	食と農のエコフォーラムin甘楽 北区と甘楽町の交流＜資料集＞	平成10年3月29日(日)甘楽ふるさと館(群馬県甘楽町)で開催された「食と農のエコフォーラムin甘楽」の資料集。北区からの主な報告者は、北区リサイクラー活動機構代表：竹腰里子、北区区民施設課長：澤田和子、北区リサイクル生活課長：清田初枝、北区リサイクル生活課：谷本有美子、北区滝野川にんじん・ごぼうを育てる会：黒田みち子など。	1998.3	○

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容 等	発行年月	備考
22	しみんけんきゅう 1998. 3(No. 4)	千里リサイクルプラザ研究所の機関誌／プラザ創立5周年特集号で、「市民研究コラム」には北区区民施設課長の澤田和子さんと北区リサイクラー活動機構代表の竹腰里子さんがコメントを寄せている。	1998.3	○
23	東京都国際化推進指導者セミナー報告書 1997年度	東京都生活文化局国際部国際化推進課が主催したセミナー(1997年10月17日都民ホールで開催)の報告書／分科会「地域からの国際協力②」で報告者となった北区リサイクラー活動機構の竹腰里子代表の発言要旨とレジュメを収録	1998.3	
24	「廃棄物リサイクルシンポジウム」研究・交流集会“徹底討論”リサイクル型社会「きょう～あした」記録集	吹田市の(財)千里リサイクルプラザが主催する集会の記録／セッション3「市民参加のリサイクル」にパネリストとして参加の北区リサイクラー活動機構代表の竹腰里子さんの発言部分を中心に収録。	1998.3	
25	農山漁村地域の持つ学び・遊び・楽しむ機能等を活用した都市住民・農村住民の相互活動に関する調査報告書	(財)農村開発企画委員会が国土庁委託事業として行った調査の報告書／農村体験の運営に資する人材育成と地域活性化では群馬県甘楽町と東京都北区の交流・取り組みが紹介され、農村と都市双方の意見が述べられる。	1998.3	
26	行政課題研究セミナー研究報告書 平成9年度	山形県職員研修所が行ったセミナーのうち、「Ⅳ 先進地の事例及課題等」の1番に報告された東京都北区の取り組み事例部分を抜粋収録。テーマは廃棄物処理・リサイクル事業で、調査日時は平成9年7月22日、調査先・対応者は区民部リサイクル生活課(熊沢主査)、北区リサイクラー活動機構(竹腰代表、菊池副代表)。	1998.3	
27	環境教育研修等事例集	(財)日本環境協会が平成5年度以降に各団体が企画・実施している研修等のプログラムに関する情報を収集・整理・提供することで環境教育の効果的推進に資することを目的に調査・編纂したもの／北区リサイクラー活動機構では「明日塾」の取り組みが紹介されている。	1998.3	○
28	明日をひらく地域活性化のための情報誌 地域づくり 1998.7	(財)地域活性化センターの機関誌／本号の特集は「環境保全とまちづくり」で、事例報告として北区リサイクラー活動機構が竹腰里子代表の筆により紹介される。タイトルは「コミュニティ創造、リサイクル媒体に夢かなえた“エコ広場館”」。小見出しは「管理・運営すべて住民」「住民も煩わしさ共有」「リサイクラー活動機構も」「自治の芽確実に育つ」	1998.7	

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容等	発行年月	備考
29	ごみ・環境市民団体の活動プログラムに関する実態調査(中間報告)	市民とごみフォーラムによるアンケート調査の結果を分析したもの／アンケート回答団体の名簿・組織現況も掲載されている。北区リサイクラー活動機構の項では設立の経緯、活動の目的や理念などが述べられている。	1998.10	○
30	応援します●元気な子育て「おさなご」1998. 11	(社)長野県私立幼稚園協会が編集、(株)教育企画センターが発行する子育て応援雑誌／News & Informationのコーナーで東京・北区の「富士見橋エコ広場館」が登場、「古着で作ってみませんかティディベア～クリスマス向けにも最適」という楽しいページがありました。	1998.11	
31	都議会レポート 1998年11月号	東京都議会議会局広報課が発行する広報誌／本号の巻頭グラビア特集(われら都民仲間)は“循環型社会”の創造をめざして—リサイクル活動ボランティア 竹腰里子さん—。小見出しは「リサイクル活動への開かれた拠点」「エコ広場館の多彩な活動」「ハードは行政、ソフトは民間」「エコのように広がる活動の輪」で多くの写真で綴った4ページ。	1998.11	○
32	女性国内研修報告書 平成10年度(第6回)	羽村市教育委員会社会教育課発行の職員研修報告書／平成10年(1998)11月29日、北区富士見橋エコ広場館を訪問し、竹腰里子代表の案内で施設を見学した際の報告や感想が記されている。(報告者:井澤紀子)	1999.2	
33	地球環境調和型ライフスタイル形成推進調査<報告書>	(社)日本リサーチ総合研究所が平成10年度経済企画庁委託事業として調査した結果報告書／環境と調和したライフスタイル形成のための行政による支援・連携方策についての提案の項で、「行政がきっかけ、場、資金等を用意し、運営は住民主体で実施」として北区の取り組みが、市民活動団体の活動事例では「富士見橋エコ広場館とリサイクラー活動機構」、自治体等の活動事例では「北区生活環境部リサイクル生活課」がそれぞれ紹介されている。	1999.3	
34	会社の元気を応援する「月刊 総務」1999. 6	(株)ナナ・コーポレート・コミュニケーションが発行する企業向け月刊誌／コラム【ごみニケーションタイム】の本号の主人公は富士見橋エコ広場館の達人たち。タイトルは「達人、名人、力道山。人それぞれの本領を地域で発揮」で、小見出しは「もう一つの生き方としてのリサイクル活動」「何人来たかではなく、何人が理解したかが大切」…リポーターは中野明子。	1999.6	
35	環境機器メーカーとユーザーをつなぐ専門誌「環境機器」1999夏	(株)宣伝会議が発行する季刊誌で本号の特集タイトルは「最新の生ごみリサイクルシステム」／“成功事例・CASE5”として「東京都北区」が取り上げられている。大見出しは「区内の全小中学校給食で生ごみと有機野菜を一つの輪に」で、群馬県甘楽町の農家との協力で実現した教育現場での食の循環が報告されている。小見出しを列記すると「区内64の小中学校全校に生ごみ処理機を導入」「きっかけはゴミの減量」「生ごみリサイクルを通して子供たちに環境教育」「住民が	1999.6	

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容等	発行年月	備考
36	市場経済を組み替える	農山漁村文化協会発行の単行本／地方自治篇には澤田和子著「大都市の片隅にローカルコミュニティを求めて」(p. 69-141)が掲載。小見出しは「リサイクル活動で見てきた人・地域」「北区リサイクラー会議が目指すエコ広場活動」「廃校で蘇った地域の連携」「都市に見つけた原風景」「フリーマーケットでの掘出し物」「滝野川ごぼう、滝野川人参を復活させたい」「自治体“職人”として北区へのラブコール」	1999.7	○
37	元気なごみ仲間の会だより No. 16	「元気なごみ仲間の会(代表:松田美夜子)」の会報／本号の特集は'99全国交流集会in東京。1999年5月25日～28日に開催された'99廃棄物処理展・東京に出店参加した同会が、隣接する会議室で4日連続プログラムで実施した集会の様相を収録。この集会の実行委員長は同会副代表の澤田和子さん、27日のフォーラムには竹腰里子さんがパネラーとして参加し都市と農業のリサイクルについて語っている。	1999.8	
38	日米環境教育交流事業「持続可能性のための教育についての対話」報告書 「持続可能性のための教育」を求めて～これからの環境教育～	環境パートナーシップオフィス発行の表記報告書／第3章来日レポートの②日本各地の取り組みの項で「リサイクルをキーワードにしたコミュニティづくり(東京都北区)」として富士見橋エコ広場館の活動が紹介されている。	1999.9	
39	こころ豊かに生きる「新世」 1999. 9	社会教育団体である(社)倫理研究所の機関誌／シリーズ「エコライフニ挑戦・9」は、住民主体のリサイクルの活動として北区リサイクラー活動機構が取り上げられている。小見出しは「住民と行政が協働」「学校給食の生ゴミを活用」。	1999.9	
40	第1回(平成11年度)地球環境と資源エネルギーを大切にす国民運動全国集会資料	平成12年2月24日、渋谷・東邦生命ホールで開催された全国集会の資料。主催は地球環境と資源エネルギーを大切にす国民運動会議(事務局:財団法人あしたの日本を創る協会)／集会のメインであるパネルディスカッション「地球環境をまもるためのわたしたちの行動」にパネリストとして参加した北区リサイクラー活動機構の竹腰代表のプロフィール及び発言要旨が掲載されている。	2000.2	
41	月刊ろうきん-ROKIN- 2000. 2	(社)全国労働金庫協会の機関誌／本号の特集:広がるグリーンコンシューマー活動。「日常の買い物から環境問題を考える」と題する特集記事は、最終節の「“出口”のリサイクルに対して“入口”の所で環境意識を高める」で北区リサイクラー活動機構の成り立ちと活動実績が紹介されて結ばれている。	2000.2	
42	1999年度船橋研究室 グリーンコンシューマー「地域実験プロジェクト」調査報告書	法政大学社会学部教授・船橋晴俊の研究室が、グリーンコンシューマー東京ネットの依頼により取り組んだ地域実験事業の効果解明作業の報告書／第3章「北区田端駅通り商店街の活性化とまちづくり」と第4章「北区田端地区におけるグリーンコンシューマー運動の今後を考える」が北区関連の記事。	2000.3	○

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容等	発行年月	備考
43	市民にエコライフを働きかける活動事例調査	(財)日本環境協会が平成11年度環境庁委託事業として取り組んだ業務結果報告書／ヒアリング調査のコミュニティづくり部門事例として北区リサイクラー活動機構が5ページにわたって紹介されている。事例のキーポイントとして「活動拠点の必要性」「公設民営のメリット」「成功の秘訣は“仕事”にしないこと」「地域のパワーを引き出す運営」「環境を大上段に掲げず暮らしや地域を楽しむ視点が大切」が指摘。	2000.3	
44	地球環境と資源エネルギーを大切にす国民運動 アース・地球環境 4(2000年3月)	(財)あしたの日本を創る協会が発行する季刊雑誌／同協会主催の「あしたのまち・くらしづくり全国フォーラム」報告記事からパネルディスカッションの全発言を収録。パネリストとして参加した北区リサイクラー活動機構代表の竹腰里子さんは「エコー広場館で市民がリサイクル活動」「生ごみのリサイクルで食の循環を提案」「市民と商店が連携しグリーンコンシューマー」などを中心に発言している。	2000.3	
45	みんなのボランティア大百科	企画・構成:子どもプラン21、編集・制作:(株)チャイルドコスモス、発行;フレーベル館の単行本／自然と地域を守るボランティアを扱ったPART2で「気軽にたちよれるふれあいの広場～富士見橋エコー広場館」が紹介されている。	2000.6	○
46	共創の時代のデザイン 「ユードコスタイル(Ud & Eco style)」 02号	(株)イトーキが発行する新しい生活提案雑誌／本号の特集は「グリーン購入～人も経済も元気にするエコショッピング③」／東京都の市民団体活動のコーナーで北区リサイクラー活動機構が「行政がつくったエコ施設を市民が管理・運営する」と紹介されている。	2000.8	
47	現代農業 2001年2月増刊	(社)農山漁村文化協会が発行する“農家を作る、農家の雑誌”／本号の特集は「不況だから元気だ～小さな消費で優雅な暮らし」……コラム「あるもの探して元気な地域」では群馬県甘楽町有機農研の活動が紹介されている。見出しは「地域を支えた2大主力農産物の壊滅的打撃～足元の自給野菜・自給ソバ・小さな農業を見直して都市と結ぶ」。“東京の小中学校の給食コンポスト活用で交流も実現”では、北区との野菜リサイクル事業の詳細や北区で作り始めた落葉堆肥のテ	2001.2	
48	きらめきの地域デザイン 季刊・あおいかぜ(碧い風) Vol.36(2001MAY)	中国電力(株)経済研究センターが発行する季刊雑誌／本号の特集「環境社会」にちなんで取り上げられたのは「都市と農村が構築する“食の循環”<東京都北区・群馬県甘楽町>」。学校給食をもとに構築される食の循環がお互いの住民組織が中心となり展開されている様子がレポートされている。	2001.5	
49	よみがえる 2001年10月号	経済界が発行する雑誌(本号を持って休刊)／コラム「ボランティアの現場から」で、北区リサイクラー活動機構の尾沢敏子さんが「仕事、家庭、地域。三つの役割を切り替えて活動」と紹介されている。また、富士見橋エコー広場館の活動も「衣類や日用雑貨をバザーに、収益は環境保全のために」とレポートされている。	2001.10	

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容等	発行年月	備考
50	月刊双健保険ダイジェスト 2001年12月号	光映出版(株)発行の医療保健の新聞切り抜き情報誌／公害(環境・食品・薬害)の部で11月19日の河北新聞で報道された東京・富士見橋エコ広場館の「廃油せつけん、家電修理—地域貢献に生きがい」と題する記事。市民組織が運営するリサイクル活動の拠点であるエコ広場館では、資源を大切に使う多彩なプログラムに多くの高齢者が参加し生きがいを感じていると伝えている。	2001.12	
51	区民活動促進検討委員会勉強会・北区職員教養講座 NPOと行政(講演会・ディスカッション)	平成14年3月25日、北区地域振興部コミュニティ担当課が実施した標記タイトル講座の議事録／講演会では北区情報化推進協議会の田辺恵一郎理事、東京シューレの奥地圭子理事長のあとをうけて北区リサイクラー活動機構の竹腰里子理事長が、リサイクラーの公募、リサイクラー会議の立ち上げからエコ広場館の開設、活動内容などをその時々エピソードを交えて紹介している。	2002.3	○
52	メイプル(MAPLE) 21002年7月号	集英社が発行する情報誌／「アイテム別・暮らしのダイエットのコツ教えます」で、古本の処分について「大切に読んで必要な人に寄付を！」と提案。富士見橋エコ広場館が「古本も市民の間で有効利用。住民参加のリサイクルセンター」として紹介されている。	2002.7	
53	北区バリアフリーガイド	北区社会福祉協議会が編集、北区健康福祉部健康福祉課が発行したガイドブック/“まち情報”に「北区リサイクラー活動機構・エコ広場館の活動」が紹介されている。	2003.3	○
54	持続可能な社会へGO!『市民が創る環境のまち』“元気大賞2003”発表記念シンポジウム<プログラム>	2003年11月25日、幕張メッセで開催されたNPO法人持続可能な社会をつくる元気ネットが主催するシンポジウム(環境事業団地球環境基金助成事業)のプログラム／北区リサイクラー活動機構のプロジェクト「都市と農村“食”の交流事業(生ごみ堆肥と農産物のリサイクル事業)」が元気大賞2003の特別賞に選ばれ、その活動内容が紹介されている。	2003.11	
55	人・もの・心をつなぐ「市民が創る環境のまち」 2003年事例集	NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネットの第3回“元気大賞2003”の報告書／北区リサイクラー活動機構の「都市と農村“食”の交流事業」が特別賞に選ばれた記事、および元気大賞2003発表シンポジウムでの北区リサイクラー活動機構の竹腰代表の報告、トークインでの進行役を務める澤田福理事長の発言などを収録。	2004.2	○
56	シニアボランティア活動事例集 ～あの人が輝いている理由～	東京ボランティア市民活動センターが発行した冊子／2003年12月に募集した中から翌年3月に採用発表された事例が掲載。活動事例③で紹介されたのが富士見橋エコ広場館で修理・修繕コーナーの“リサイクル達人”として活動する中一訓さん。「機械好きが高じて」「物を大切にする心が大事」…と語り“再生”に打ち込む姿が描かれている。	2004.3	

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容等	発行年月	備考
57	環境会議 2001春号	(株)宣伝会議が発行する環境を考えるコミュニケーション誌(春秋2回刊～現在は季刊)／本号のテーマは「循環型社会をどのように創っていくか」。モデル地域が拓く循環型社会への道・CASE⑤では「行政と協働してリサイクル活動の輪を広げる」と題して北区リサイクラー活動機構の「甘楽町—北区“食”交流事業」が紹介されている。	2004.3	
58	市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2004<報告書>	2004年2月13日～15日に東京ボランティア・市民活動センター主催で開催されたフォーラムの報告書／2日目に行われた交流集会「新しい自治体づくりと市民社会の創造～公共施設の受託とNPO・市民団体の役割と使命」ではリサイクラー活動機構の竹腰代表がエコー広場館活動の実績を報告。	2004.3	
59	中学コース月刊誌「Z CLUB(ゼット★クラブ)」 2004年5月号	受験・学習のZ会(Z-KAI)が発行する学習誌／本号の特集は「環境問題にとりくむ」で、そのケース3として「リサイクルする～北区リサイクラー活動機構」が取り上げられている。主要なテーマは「住民主体で取り組むリサイクル活動—学校給食の生ゴミの循環」で、大切なことは考えたことを行動に移すことと…	2004.5	
60	<21世紀子ども百科>地球環境館	和田武・崎田裕子監修、小学館発行の環境学習百科／【食べ物・買い物・ごみと暮らし】の章で「給食でリサイクルの輪—東京都北区と群馬県甘楽町の取り組み—」が見開き2ページで紹介されている。小見出しは「おいしい野菜をありがとう～北区立柳田小学校“レストランで給食”」「給食の調理くずを有機農業のたい肥にリサイクル」「甘楽町で体験学習」「朝市にも野菜を出荷」となっている。	2004.7	○
61	持続可能な地域社会を育む拠点とは？ ～パートナーシップ拠点を目指して～	「NPO birth」「地球環境パートナーシッププラザ」「環境パートナーシップオフィス」の共同事業であるSCOS(エスコス)の環境活動・情報拠点調査報告書／環境活動・情報拠点の章では「“響きあう”地域のリサイクル拠点—富士見橋エコー広場館」が紹介されている。	2006.3	○
62	平成17年度 事業者と連携したグリーンコンシューマー活動の 効果等に関する調査検討業務<報告書>	三井情報開発(株)総合研究所が行った調査報告書／事業者と連携したグリーンコンシューマーの活動事例として、北区リサイクラー活動機構が紹介。内容は「リサイクル拠点の運営」「都市と農村を結ぶ“食の循環”の取り組み」「グリーンコンシューマー地域実験プロジェクト」	2006.3	

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容等	発行年月	備考
63	月刊「食育フォーラム」 2006年10月号	(株)健学社が発行する生きる力を身につける！ための食育雑誌／本号の特集は学校給食とリサイクル。北区リサイクラー活動機構の「都市と農村を結ぶ食の循環～学校給食の生ごみの堆肥化～」が取り上げられている。	2006.9	
64	<卒業論文>地域をつなぐ生ごみ資源の可能性—東京都北区と群馬県甘楽郡甘楽町の生ごみリサイクル事業から—	田中順子さん(大学名不詳)の2006年度卒業論文／循環型社会の実現が求められている昨今、資源の循環利用の意義を経済性や効率性以外に見出すべきとの視点から、北区と甘楽町で行っている生ごみリサイクル事業をとりあげて考察する。	(2006)	○
65	「買う」から始めるエコ。 地球温暖化から、人類を救う85の先進事例	グリーン購入ネットワーク(GNP)監修、(有)糺書房発行の単行書／地球温暖化から人類を救う85の先進事例として、第1回から第8回までのグリーン購入大賞受賞団体の取り組みが紹介される。第5回優秀賞受賞の北区リサイクラー活動機構の紹介見出しは「小売店の環境経営を生み出す地域活動」。	2007.10	○
66	環境学習施設レポート	産・官・学・市民が幅広いネットワークをつくり、その知恵と力を集めて環境学習施設を活性化するための活動をする環境学習施設ネットワーク(ELCNet)の調査報告書／北区のエコ広場館の項目別紹介記事は<運営体制>市民会議からの展開、<学習体系計画>リサイクル文化の場づくり、<啓発・学習活動>物質循環の確保と循環型社会の構築—リサイクル手芸、<展示物>暮らしの博物館として紹介。	2007.9	○
67	<竹内ゼミ>2009年度国際地域学基礎演習Ⅱ 富士見橋エコ広場館	東洋大学国際地域学部指導教員:竹内章悟先生のゼミ参加学生(2年生15名)が、東京都北区で活動している北区リサイクラー活動機構をテーマに取り上げ、その活動拠点である富士見橋エコ広場館の活動に参加、また活動している人々にインタビュー等を行ってまとめたレポート。	2010.1	○
68	日本農業のトップランナーたち 第39回日本農業賞に輝いた人々	日本農業賞は、JA全中、JA都道府県中央会とNHKが主催。日本農業の確立をめざし意欲的に経営や技術の改革と発展に取り組み地域社会の発展に貢献している農業者と営農団体を表彰するもの。今回の特別部門・食の架け橋賞に輝いたのは、甘楽町の有機農業研究会会長:新井俊春さんと、北区との交流の中で始まった学校給食の残渣の有効利用を柱にした都市と農村の交流事業が評価対象になっている。	2010.3	○

	文献タイトル／巻号	発行者／記事内容 等	発行年月	備考
69	<ガイドブックNo. 2> 生ごみのふしぎ! ～みんなで取り組む家庭の生ごみ～	NPO法人生ごみリサイクル全国ネットワークが編集、日報出版(株)が発行するガイドブック／実践編・4で紹介されるのは「生ごみカラットで乾燥し可燃ごみに—東京都北区—」で、北区新生活運動推進協議会が生ごみカラット(通気式生ごみ保管容器)を使って生ごみの水分量(風乾効果)を調査した結果が報告されている。	2010.10	○
70	TOKYO北区時間 2011 ～このまちを満喫せよ!～	東京商工会議所北支部が編集・発行、北区地域振興部観光振興担当が協力して刊行されたガイドブック／<ものづくりの街>で紹介されるのは「エコとものづくり～エコー広場館と再生工房～」で、富士見橋、北ノ台、滝野川西、赤羽の4エコー広場館が多彩な写真入りで登場する。	2011.1	○